様式３（2020.06改）

作成日 令和3年12月22日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000050
事業所名	グループホームプルミエールさなげ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	新型コロナウイルスの感染状況を見て、落ち着いたときに認知症カフェを継続して開催している。 開催場所を区民会館に移し、年間6回の開催ができた。 地域から、毎回20名ほどの常連客が集まる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍によって書面開催が続いていた運営推進会議が、令和3年12月に久々の対面開催として開催された。 書面開催時には、ホームの運営状況を正しく報告するため、会議メンバーに詳細な資料を送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	複合施設内でコロナ感染が発生した時には、市から「がんばれ！」との応援メッセージとともに救援の物資が届いた。 地域包括支援センターの協力があり、区民会館に場所を移して認知症カフェが継続開催されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナの感染状況により、家族面会に制限を設けている。 完全に面会中止としたこともあるが、現在では条件付き（事前予約、玄関のみ、短時間等）で認めている。 ホーム運営に理解がある家族が多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍によって書面開催が続いていた運営推進会議が、令和3年12月に久々の対面会議として開催された。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									